

考える、語り合う No.21

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和3年11月25日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

ふるさと教育について思うこと

長崎新聞の記事(2020/2/1web版)によると、長崎市の転出超過数は、市町村別統計で2年連続(2018、2019)ワースト1位となっています。「長崎市は、特に20~24歳の男性の転入が減っており、同室は『県外に進学した後、市内に帰ってきて就職する人が減った可能性がある』と分析している」そうです。佐世保市もワーストの上位に入っており、当然長崎県としても人口減が確実に進んでいます。長崎には働き先が少ない、平地が狭く住居費が高い、賃金が安い等は、よく言われる人口減の理由です。



そこで、長崎県は、「長崎県の未来を創る『ふるさと教育』の推進」を掲げて、ふるさとを担う職業人・地域住民との出会いや、ふるさとを舞台にした実感的・体験的な学びを学校等に求めています。

長崎市は「長崎LOVERS育成プログラム」を立ち上げて、「長崎の未来を創る人づくり=長崎のまちを支える担い手を育てる」取組を進めています。



川原小学校も、総合的な学習の時間を中心に、「ふるさととのつながりから、学びを広げていこう」という共通課題を設定し、びわや、川原大池、宮崎川のホテル、平和学習、こども園との交流、福祉施設との交流等、たくさんの地域資源を活用した学習を展開しています。つい先日も、3年生がびわの学習の一環として、外部の方を講師としてお招きし、びわゼリーを作りました。<HPのURL:[3年びわ④\(びわゼリー\)|長崎市立川原小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://www.nagasaki-city.ed.jp)> 川原地区のすばらしい人的・物的環境を、バランスがよく取り入れた「ふるさと学習」が進んでいると思っていました。

ところが、先週の土曜日に、ある研修会に参加した際に、北海道教育大学宮前先生の講演を聞き、たくさんのごを気づかされました。そこで先生は、「学校教育は、学校教育が目的なのではなく、もっと大きな目的のための手段ではないか。その目的こそが、持続可能な地域・社会・未来の創り手の育成である。」ことを示されました。また、「学校は教材や活用の対象としての地域には興味がある。しかし地域社会が抱える課題には関心がない。」とも語られました。このご指摘は、私を含めて多くの学校関係者の姿勢を見事に突いています。

「地域とともにある学校」は、私たちの目指している学校の姿です。しかし、先生は、「地域をともにつくる学校」であることが、真に地域社会の担い手を育てることになると語られました。「地域をともにつくる学校」で学んだ子どもたちなら、働き先や住居等の課題を乗り越える「ふるさと愛と行動力・解決力」が高まり、ふるさとに残り、ふるさとを盛り上げてくれることでしょう。

今後あらためて、全職員でふるさと教育に力を注いでいきます。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございます

学校評価アンケートを配布し、現在ご回答いただいているところだと思えます。教育活動を振り返る際の貴重なご意見とさせていただきますので、よろしく願いいたします。

昨年度の評価で、唯一肯定的回答8割を切っていたのが、「『あはは運動』を知っている」でした。確認のために、昨年度の学校だより14号でお知らせした運動の内容を、次ページに再度掲載します。

(再掲)

「早寝早起き朝ごはん」で伸びる能力について

長崎市教育委員会と長崎市PTA連合会が中心となって推進している「長崎っ子の約束『あ・は・は運動』」。市内の保育園、幼稚園、こども園から小学校、中学校までが、一体となって取り組んでいる運動です。再確認をお願いします。

「あ・は・は 運動」

㊤ あいさつ・へんじ げんきよく！

(人との付き合いは、あいさつから)

㊦ はやね・はやおき・あさごはん！

(基本的な生活習慣は、人間形成の土台)

㊧ はきものそろえ いいきもち！

(相手を思いやり、気持ちのよい環境づくりができる子どもに)



この後、基本的な生活習慣の定着と学力の間には、相関関係があることと、生活習慣が整うことで、人間関係能力(「①近所の人に挨拶できる」、「②人前でも緊張せず自己紹介できる」、「③けんかした友達を仲直りさせることができる」、「④初めて会った人でもすぐに話ができる」、「⑤友達に相談されることがよくある」)も高まることをお伝えしました。

嘉代子桜の苗木が本校に届いています

長崎県内の小中学校に通われた方なら平和教育の一環として、「嘉代子桜」の名前を聞かれたことがあると思います。原子爆弾によって15歳で命を奪われた嘉代子さんのお母様が、娘が好きだった桜を植えて弔いました。その苗木配布を希望したところ、幸いにも本校が配布先の一つとなりました。篠原庁務員の事前準備と指導の下、5年生が、駐車場側の桜並木に植林していますので、ぜひ一度ご覧ください。

今後は、川原小の子どもたちが、苗木と平和の心を大切に育ててくれることでしょう。

HPに掲載しています：[嘉代子桜\(2世\)植樹 | 長崎市立川原小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](http://nagasaki-city.ed.jp)



スクールコンサートを開催しました

本日、長崎県オペラ協会の皆様に、オペラ「ヘンデルとグレーテル」を公演していただきました。オペラを観るのが初めての子どもも多く、ワクワクして幕が開くのを待ちました。始まると、演者の皆様の歌声と表現力に、驚きと鑑賞の喜びを感じていたようです。こちらも近々、HPに掲載します。